

参考資料5 よくある質問について（Q&A）

「田んぼダム」の取組は、農家の皆さまからのご協力で行う取組です。このため農家の皆さまにしっかりと「田んぼダム」の取組をご理解頂く必要があることから、よくある質問をQ&A方式で記載します。

質問1：「田んぼダム」の取組を行うと水田に土砂やごみが入り、営農に支障があるのではないかと。

回答1：「田んぼダム」は上から降った雨を一時的に貯留する取組であり、遊水地のように外部から水を引き入れるものではありません。そのため「田んぼダム」の取組で水田に土砂やごみが流入する心配はありません。

質問2：「田んぼダム」を行うと畦畔が崩壊するのではないかと。

回答2：「田んぼダム」は地域の降雨状況に応じて流出量調整板の排水口の大きさを設定するため、大災害規模の豪雨や内水氾濫が発生しない限り、畦畔から水が溢れることは想定されていません。（実際に熊本県球磨川流域で発生した3日連続雨量641 mmの豪雨でも「田んぼダム」の取組を実施していた水田の畦畔から溢水はありませんでした。）

質問3：「田んぼダム」を行うことで、水稻の品質や収量に影響が出ないのか。

回答3：第4章「田んぼダム」の営農への影響で示したとおり、実証試験により「田んぼダム」実施による水稻への収量・品質への明らかな影響がないことが示されています。

質問4：畑で「田んぼダム」の取組を行ったら、湿害等が発生し、作物に影響があるのではないかと。

回答4：「田んぼダム」は畑で行う取組ではありません。水稻栽培時に行う取組であり、畑作を行う水田では実施しません。あくまで水田における取組です。

質問5：「田んぼダム」を行う農家にメリットはあるのか。

回答5：周辺の畑で湿害を防ぐ効果が期待できます。また、下流にある皆様や皆様のお知り合いの住宅、施設の洪水防止に大きく寄与します。今後の豪雨対策は地域全体で行い、人命や財産を守ることが重要です。上流と下流、都市と農村が協力し合うことが大切であり、その一環として「田んぼダム」への取組が求められます。また、「田んぼダム」の取組を行うことで、多面的機能支払交付金の加算措置や農地整備事業の支援を受けることが可能となります。

質問6：「田んぼダム」の取組に対して国等からの支援はあるのか。

回答6：第5章5. 3に記載されているとおり、農林水産省では、

1. 農地整備事業による畦畔補強や排水口の整備等に対する支援
2. 水利施設整備事業による営農再開時の速やかな排水に向けた支援
3. 多面的機能支払交付金による「田んぼダム」の活動に対する支援を実施しています。

この他、都道府県、市町村でも「田んぼダム」の取組に対して独自の支援を行っている自治体がありますので、地元自治体にお問い合わせをお願いします。

質問7：「田んぼダム」はどのような場所で行うのか。

回答7：「田んぼダム」の取組は、第2章2. 2. 1に記載のあるとおり、実施する地域及び実施する地域の下流で水災害リスクに対する効果があります。

質問8：水田に雨水を貯めることができれば「田んぼダム」の取組を実施しているとなるのか。

回答8：「田んぼダム」は、小さな穴の開いた調整板などの簡単な器具を水田の排水口にとりつけて流出量を抑えることで、水田の雨水貯留機能の強化を図り、周辺の農地・集落や下流域の浸水被害リスクの低減を図る取組です。雨水を貯めるだけでは、水稻の生育に影響が与える可能性があり、貯めすぎると畦畔から溢水し、農地の被害に繋がりますので、このような状況にならないために迅速に排水できる排水柵が必要になります。第2章2. 2. 3に記載されているとおり、地域の降雨状況に応じた器具の選定、畦畔の維持管理体制の検討などが必要です。

質問9：「田んぼダム」の取組を行うことで農家の負担が増えるのではないか。

回答9：アンケート調査結果からは農家の負担が大きく増えることはありませんでしたが、流出量調整器具を設置することにより、排水柵排水口の口径を小さくするため、従来よりも稲わらや草が詰まる可能性があります。このことにより農家の作業が増加する可能性があるため、第5章5. 3に記載されている多面的機能支払交付金を活用し、農業者の負担を軽減して頂ければと思います。

質問10：流出量調整器具は常時設置する必要があるのか。

回答10：「田んぼダム」の取組はいつ発生するかわからない豪雨に備えて行うものです。このため、流出量調整器具は常時設置することが重要となります。しかしながら、「田んぼダム」の取組は、作物の生産に影響を与えない範囲で、農業者の協力を得て実施する取組でもありますので、機能一体型を設置している場合には、中干しや稲刈り時期など、水田を乾かしたい時期には一時的に外して頂いてもかまいません。なお、機能分離型の場合には、流出量調整器具を常時設置していても水田を乾かすことが可能なので、常時設置してください。